

No.16 北海道・音威子府村（保育園留学の支援）

| | |
|-------------|------------------------|
| 地域力創造アドバイザー | 山本雅也氏 (A642) |
| 活用分野 | 少子化対策、子ども・子育て支援（子育て支援） |
| 活用期間（頻度） | 令和7年度～令和9年度（月1、2回程度） |
| キーワード | #交流人口 #保育園留学 |

【目的】

保育園留学実施に向け、ノウハウや課題整理などのアドバイス。事業のデモンストレーションの企画、運営。

【内容】

- 保育園留学モデルの設計支援
- 保育園留学の持続可能な地域運営の支援
- 住環境の整備の計画
- その他、保育園留学実施に必要な準備業務
- 子供や教育を軸にした地域づくりの他地域情報の提供

【成果（見込み）】

- ・実施計画書の策定
- ・会議実施記録、最終報告書の作成
- ・その他関連資料の作成



受け入れ園の様子

No.103 岐阜県・山県市（こどもと美山地域のみらいづくり）

| | |
|-------------|--|
| 地域力創造アドバイザー | 山本 雅也 氏（A642） |
| 活用分野 | 地域資源を活用した地域経済循環、まちなか再生、生活機能の維持、観光振興・交流、関係人口の創出・拡大、移住・定住促進、少子化対策、子ども・子育て支援、地域づくり人材の育成・教育、自治体経営イノベーション、シティプロモーション・地域PR |
| 活用期間（頻度） | 令和6年度～令和8年度（月1、2回程度） |
| キーワード | #こども #少子化 #過疎 #保育園 #地域活性化 #移住定住 #二地域居住 #関係人口 #滞在人口 #シティプロモーション #子育て支援 #保育園留学 |

【目的】

山県市の地方創生及び地域活性化に資する活動の支援及び美山地域の保育園留学事業の推進と子育て会議をとおした地域連携の強化を図ることで、持続可能な保育環境の構築を支援すること。

【内容】

- 美山地域における保育園留学の地域連携体制の構築
- 「美山地域の子育て会議」の部会をとおした子育て魅力向上の推進
- 保育園の統合に関する先進事例の調査・分析と、今後の方向性に関する助言

【成果（見込み）】

- 令和6年度、美山地域の今後の保育の在り方を検討する、山県市子ども・子育て会議「保育と地域がつながる部会」に2回出席し、地域の今後の保育事業方針の決定をサポート。
- 令和6年度、関係者のヒアリング等の実施により、地域の課題抽出や保育事業を推進する、「美山地域の保育の在り方」を策定。
- 令和7年度、保育園留学事業開始



（美山地域での保育の様子）

No.105 岐阜県・海津市（保育園留学事業）

| | |
|-------------|--|
| 地域力創造アドバイザー | 山本 雅也氏（A642） |
| 活用分野 | 地域資源を活用した地域経済循環、少子化対策、子ども・子育て支援、関係人口、二地域居住 |
| 活用期間（頻度） | 令和6年度～令和7年度（月2回程度） |
| キーワード | # 保育園留学 # 子育て # 空き家 # 関係人口 # 二地域居住 |

【目的】

本市独自の魅力や価値の向上に取り組むことで地域力を高め、地方創生及び地域活性化に資する活動に対し、課題解決のために指導及び助言を行うことを目的とする。

【内容】

本市の保育事業を通じた地方創生に向けて、円滑な「保育園留学」事業の導入、実施を支援する。

○保育園留学の導入及び持続可能な受入体制の支援

- ① 保育園留学・田舎暮らし体験に向けた移住促進宿泊環境の整備
- ② 地域受入体制の整備として協力体制、運営計画の策定



【成果（見込み）】

川遊びなどの豊かな自然体験や園内菜園を備え収穫体験ができる「認定こども園庭田保育園」に加え、市内の宿泊施設との受入協力体制を確立した。今後は整備した受入体制に基づき、モニター世帯の受入を開始していく。

モニター期間中には、利用者へのアンケートやヒアリングを通じ、顧客満足度および運用上の課題点を検証する。

この検証結果をもとに、より円滑で持続可能な保育園留学プログラムへと移行させる。本事業を通じて、関係人口の定着を図るとともに、中長期的な本市への移住定住の促進へと繋げていく。



No.112 三重県志摩市（保育園留学導入支援）

| | |
|-------------|--|
| 地域力創造アドバイザー | 山本 雅也氏（A642） |
| 活用分野 | 地域資源を活用した地域経済循環、少子化対策、子ども・子育て支援、関係人口の創出・拡大 |
| 活用期間（頻度） | 令和7年度～令和9年度（月1回程度） |
| キーワード | # 関係人口創出 # 移住促進 # 子育て世帯 # 保育園 # 地域滞在 # 地域経済の活性化 # 少子化対策 |

【目的】

- ・地域独自の魅力や価値の向上に取り組むことで地域力を高め、地方創生及び地域活性化に資する活動に対し、指導及び助言を行う地域力創造アドバイザーを招へいし、課題解決に取り組む。
- ・志摩市の保育事業を通じた地域創生に向けて、地域（地域のこどもと家族、事業者・関係者）を巻き込み、地域資源を活かした滞在・体験プログラムの提供により、関係人口の創出及び将来的な移住・定住への転換を図る。

【内容】

- ・保育園留学による子育て家族へのPR、ブランディングへの指導及び助言
- ・子育て家族に向けた地域づくりへの指導及び助言
- ・その他上記に関連する指導および助言

【成果（見込み）】

- 保育園留学の開始に向け、志摩市の魅力発信コンテンツの整理、保育園の受入制度・体制の構築、滞在先となる市内宿泊施設の調査・選定を実施。
⇒7月より保育園留学の受け入れ開始
(<https://reserve.hoikuen-ryugaku.com/destination/mie/shima/shimanomori>)
- WEBページ等での情報発信を実施し、令和7年度は4件の留学家族を受け入れ。
(年度内、計6件程度の申込予定)



受入開始保育園（しまの杜こども園）

No.179 熊本県苓北町（保育園留学）

| | |
|-------------|-----------------------------------|
| 地域力創造アドバイザー | 山本 雅也氏（A642） |
| 活用分野 | 滞在・活動の場づくり、地域と関係人口の協働 |
| 活用期間（頻度） | 令和7年度～令和7年度（月5回程度） |
| キーワード | #関係人口 #二地域居住 #移住定住 #協働 #滞在 #保育園留学 |

【目的】 苓北町の地域資源を活用し、都市部の子育て家族が一定期間地域で暮らしながら保育サービスを受ける「保育園留学」の実現に向けた準備を行うため、地域力創造アドバイザーの知見を活かし、実施体制の調査と構築、地域との連携及び空き家（空き施設）を活用した住環境整備の提案等を目的とする。

【内容】

- 保育園留学モデルの設計
- 保育園留学を実現するために必要な地域運営体制の調査と構築
- 町内の空き家（空き施設）を活用した子育て家族が生活しやすい住環境整備の計画提案

【成果（見込み）】

- 町内6保育園において「保育園留学」受入に関する調査実施（現地視察・ヒアリング）
- 町保育所連絡協議会において保育園長、保育主任に「保育園留学」についてのディスカッション実施（20名参加）
- 町有空き施設（旧町営住宅）の調査実施（ヒアリング・現地視察）
- 上記空き施設を活用した住環境整備に関する計画案提案
- 保育園留学の「れいほくモデル」構築のための実施体制案提案
※町内の観光地、史跡、産業、キーパーソンの調査・取材実施
- 保育園留学の実証（モニター）実施 1週間×2組
※モニター実施のため保育園留学の実施に前向きな町内の保育園（1保育所）の協力を得た。1組のモニター終了後、他の保育園からも保育園留学の実施に前向きな意見が挙がっている。



保育園留学実証の様子



保育園留学実証の様子

【R6】No.24 岐阜県海津市（保育園留学）

| | |
|-------------|--|
| 地域力創造アドバイザー | 山本 雅也氏（A642） |
| 活用分野 | 地域資源を活用した地域経済循環、少子化対策、子ども・子育て支援、関係人口、二地域居住 |
| 活用期間（頻度） | 令和6年度～令和7年度（月2回程度） |
| キーワード | #保育園留学 #子育て #空き家 #関係人口 #二地域居住 |

【目的】

本業務は、本市独自の魅力や価値の向上に取り組むことで地域力を高め、地方創生及び地域活性化に資する活動に対し、課題解決のために指導及び助言を行う地域力創造アドバイザーとしての役割を果たすことを目的とする。

【内容】

地域力創造アドバイザーは本市の保育事業を通じた地方創生に向けて、円滑な「保育園留学」事業の導入、実施を支援する。さらに空き家をリノベーションする提案等を行うとともに、その空き家を活用した田舎暮らし体験事業の二地域居住の企画・立案を行う。

【成果（見込み）】

- 保育園留学の導入及び持続可能な受入体制の支援
 - ① 保育園留学・田舎暮らし体験に向けた移住促進宿泊環境の整備
 - ② 地域受入体制の整備として協力体制、運営計画の策定
- こどもと家族の二地域居住促進と空き家活用
 - ① 二地域居住計画の促進に関する計画策定と実施
 - ② 田舎暮らし体験（お試し移住）の推進
- 事業の重要業績評価指標（KPI）
 - ① 本事業の成果として、保育園留学を体験した家族数を直接的な関係人口として目標設定
保育園留学を通じた家族単位での利用者数 年間30人（目標値）
（1世帯あたり平均3人と想定）
 - ② 保育園留学利用者の累計宿泊日数（延べ宿泊数）を目標値として設定
保育園留学を通じた中期滞在の宿泊数 年間140日（目標値）



（保育園留学）

